

「ひろしま版ネウボラ」※・「子育て支援センター」

幼稚園・保育所・こども園、ママカフェ、子育てサークル、公民館…
保護者が集まる様々な「場」でご活用いただける



「親の力」をまなびあう学習プログラム

※「ネウボラ」とは、親子や家族全体の心身の健康を支援するフィンランドの子育て支援の仕組みのことです。ひろしま版ネウボラでは、妊娠期から子育て期までの切れ目のないサービスを提供するための身近な相談拠点の設置や仕組みづくりに取り組んでいます。

「親プロ」は 広島県教育委員会が開発した
“寄って 話して 自ら気づく”
参加型の学習プログラムです

新規開発教材のご案内

デジタル時代の子育て

～スマホの使い方みんなどうしてる？～



▶ワークシートや展開案等のデータはHPからダウンロードできます。

近年、核家族化・共働き世帯の増加・ICT機器の発達など子育ての環境は急速に変化してきており、スマートフォンを乳幼児期から子育ての一助としている家庭は増えてきています。その反面、その手法に不安を抱えている保護者も多く見受けられます。この教材では、乳幼児の親同士で、スマホを子供に使わせる(見せる)ことに対する不安や悩みを話し合うことを通して、親の心の負担を軽減することを目的に開発しました。

1

乳幼児の親向け

対象

0-2歳児の親

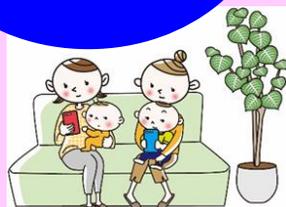


同年代の子供の親同士で子育ての情報を交換できる！

2

健診の待合時で

短時間
20分程度



ちょっとしたすき間時間で利用できる！

3

おひざにだっこで

少人数
3-4人から



ファシリテーターが進行し親子で一緒に参加できる！

参加者の声

- ・再度スマホやメディアとの付き合い方について考えてみようと思う。
- ・他者の意見が聞けたことがよかった。とても参考になった。
- ・親の子育ての悩みに寄り添える会だと感じた。もっとこのような機会をつくってほしい。



お問い合わせはこちらまで！



広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。

TEL : 082-248-8848 FAX : 082-248-8840
MAIL : sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

ばれっとひろしま



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>



0-2歳児の親のための「親の力」をまなびあう学習プログラム」一覧

対象	No.	教材タイトル
0～2歳児の親	7	私の時間, 子供の時間 ～つくっていますか?心のゆとり～
	8	お付き合いって難しい?! ～「私と周り」の人間関係を振り返る～
	9	ワイワイ, キャーキャー! ～「子供と遊び」について考える～

テーマ別に関発した教材 ★多様化する現代的課題に対応した教材です。

乳幼児～高校生の父親	25	お父さんの子育てトーク! ～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～
まもなく親になる人, 0～3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう ～絵本をひらいてみませんか～
まもなく親になる人, 0～3歳児の親	29	おひざにだっこでおはなししましょう ～読み聞かせ, どうしてる?～

親子コミュニケーション応援編 ★子供の気持ちに共感した接し方, コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。

概ね2, 3歳～6歳児の親	コー1	「ちゃんとしてね!」で伝わってる?
	コー2	ほめて“楽”に子育て～悩むの中止で注視しよう～
	コー3	待つ門には福がくる!?
	コー4	いきなりどなっていませんか?
	コー5	備えあれば怒りなし!?
	コー6	指示より支持してみよう

短時間でできる教材 ★乳幼児の親を対象として「サイコロ」や「カード」で楽しく学べる教材です。

0～2歳児の親	ミニー1	みんなどうしてる? ～親編・親の生活編・子供の生活編～
	ミニー2	デジタル時代の子育て ～スマホの使い方 みんなどうしてる?～

この他にも, 子供の対象年齢や子育ての段階に合わせた教材がたくさん!
お問合せ先: 広島県立生涯学習センター TEL:082-248-8848

「親の力」をまなびあう学習プログラム」 Q&A

Q. 「親プロ」を活用することで, どんな成果がありますか?

A. 親自身の子育ての悩みや不安を解消するほか, 親同士の交流やネットワークを深めることができます。子供たちの明るい笑顔と未来のために, 親の学びや育ちを応援することができるプログラムです。

Q. 時間はどのくらいかかりますか?

A. 90分～120分のプログラムが多くありますが, 15～50分程度の短時間での講座に活用いただけるものもあります。参加者のニーズや「場」に応じて, プログラムをアレンジして短時間で実施することもできます。

Q. 講師はだれがとめるのですか?

A. 県や市町の養成講座を修了したファシリテーターが, 学習プログラムの進行をつとめます。参加者が安心して自分の意見を言ったり, 人の意見を聞いたりすることができるような雰囲気を作り, 学びや交流を促していく役割を担います。